

霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

* 当院では、下記の臨床研究を実施しております。

* 研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。

* 本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合、また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

* 診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

* 研究はあくまで日常診療から集積される診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様には何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名 (承認番号)	肩腱板断裂に対する鏡視下腱板修復術後の疼痛および鎮痛薬使用に関連する因子の検討 (承認番号: <u>2026-1</u>)
研究責任者の氏名 (部門)	坂田 秀 (国立病院機構霞ヶ浦医療センター 薬剤部)
研究の対象者 (研究対象期間)	当院にて肩腱板断裂に対する鏡視下腱板修復術を受けられた15歳以上の患者さんのうち、電子カルテに術後疼痛スコアおよび鎮痛薬使用状況が記録されている方が対象です。 対象期間: 2022年10月1日 ~ 2025年10月31日
研究の目的	手術後の痛みと、その強さに関連する背景因子や鎮痛薬使用状況を明らかにし、術後疼痛の予測や個別化された疼痛管理に役立てることを目的としています。
研究の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・後ろ向き観察研究です。 ・すでに診療のために記録された電子カルテ情報を用いて解析します。 ・患者さんへの新たな検査や負担は発生しません。
研究に使用される診療情報項目	<p>以下の診療情報のうち、研究に必要な最小限の項目を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、身長、体重、ボディマス指数、腎機能 ・基礎疾患 (肝機能障害、消化性潰瘍、気管支喘息) ・手術・麻酔に関する項目 (手術・麻酔時間、麻酔方法) ・術後疼痛管理 (鎮痛方法、末梢神経ブロックの有無) ・術後疼痛スコア (術後3日間の疼痛スコアの最大・最小値) ・鎮痛薬使用状況 (非ステロイド性抗炎症薬、アセトアミノフェン、アセトアミノフェン・トラマドール配合剤、神経障害性疼痛緩和薬、オピオイド、鎮痛補助薬) ・合併症、術後悪心嘔吐スコア、入院日数 <p>なお、氏名・住所・連絡先などの個人を直接特定できる情報は取得しません。</p>
個人情報の保護について	<p>本研究では、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針およびヘルシンキ宣言に基づき、個人情報の保護に最大限配慮して実施します。取得した情報には登録番号を付与し、連結可能匿名化したうえでデータ解析を行います。匿名化対応表は当院内で厳重に管理し、外部に提供されることはありません。研究で使用するデータは、当院が管理する外部ネットワーク非接続の媒体に保管し、研究責任者および研究担当者のみがアクセスできるよう適切に管理します。研究成果が公表される場合でも、個人が特定されることはありません。研究期間終了後は、倫理指針に従い、電子データは完全削除し、個人情報が残らない方法で適切に廃棄します。</p>
共同研究機関の有無 (名称、責任者氏名)	無し
備考	

お問い合わせ先: 〒300-8585茨城県土浦市下高津2-7-14

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター (電話: 029-822-5050)